家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和８年 11 月 11 日発行
No.　R8-22

長崎県でランピースキン病の発生が継続中！

11 月 11 日、新たに長崎県五島市の牛飼養農場３戸で４頭の牛にランピースキン病の発生が確認されました。

本病の発生および感染拡大防止のため、以下のことを心がけましょう。

対策１　毎日の健康観察

早期発見・早期通報により、被害は大きく低減します。
丁寧に飼養牛を観察するとともに、疑わしい牛は直ちに通報しましょう！

疑わしい症状

食欲減退、発熱、
歩様異状、皮膚の結節
泌乳量の低下

最寄りの家畜保健衛生所に通報！







対策２　害虫の駆除

成虫対策と幼虫対策は両方行いましょう！

成虫対策には、殺虫剤ローテーション！防虫ネットの設置！



サシバエが飛ぶより上を狙って噴霧！



殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！





地面や床から２mは防虫ネットで覆えるようにしましょう！

幼虫対策には、堆肥等の管理！IGR剤の散布！

堆肥の切り返しは隅々まで！

牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、子牛のいる牛床にIGR剤を散布！



対策３　清掃・消毒

車両や人がウイルスを運ばないように、出入りする際の洗浄・消毒！
車両は殺虫も！注射針、人工授精用器具等の一頭ごとの交換・消毒！

写真協力：鹿児島県内酪農家、(独)家畜改良センター宮崎牧場、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エランコジャパン株式会社

最上家畜保健衛生所　電話　0233-29-1357（休日・夜間も対応）